



以前はうまく作物が育ったから今年も同じ場所で育ててみたらなんだかうまく育たない…という事はありませんか？  
それはもしかしたら連作障害かもしれません。



営農経済課 TAC  
藤井 拓也

連作障害の中には、同じほ場で同じ作物を作付けし続けることで、その作物を好む土壌病害菌(青枯れ、半身萎凋病)や土壌害虫(ネコブセンチュウ等)が増えて作物に影響を与える場合があります。うまく育たなくなってしまう障害を防ぐためには土壌消毒などが有効です。

本来なら、土壌消毒には農薬を使用しますが、薬害や周辺地域への配慮が必要です。そこで、農薬を使わず太陽熱を利用した消毒方法をご紹介します。

1. 有機物(京堆肥等2kg/m<sup>2</sup>) + 石灰窒素(100g~150g/m<sup>2</sup>) + 元肥(石灰窒素に窒素成分が入っているため5分の4程度に抑える)を土に混ぜる。
2. 耕し、畝を作る。
3. 水を打つ(やや多めに)か、雨にあてる。
4. 畝の上を透明のビニールで覆う。(7月下旬から9月中旬の間の約30日間そのまましておく)

また、米ヌカや一般フスマ(0.5kg/m<sup>2</sup>)と一緒に土に混ぜることによりさらに効果があがります。この作業を行うと地温はおよそ60度になり土壌病害菌、土壌害虫を抑える事ができます。なお、石灰窒素は目に入ると危険です。散布時には、防護マスク、防護メガネを着用し肌を露出しないように注意して下さい。

## おすすめ 園芸用肥料



# 野菜の達人

## 元肥にも追肥にも使える万能肥料!

- サンアグロ独自のポーラス(中空)形状で水によく溶け、液肥・葉面散布剤としても使えます。
- 花・植木・プランターにも使えます。
- 何度使っても土を酸性化させない中性肥料。(pH 6.8)

チッソ リン酸 カリ  
**15 - 14 - 10**  
15+0ポリ袋入り

価格 2,484円(税込)

1a当りの施肥量(kg)

作物例	元肥	1回の追肥	追肥回数	追肥時期
なす	15kg	2.5kg	5回	1番果収穫後から2週間間隔で
トマト・ミニトマト	6kg	2kg	4回	格段の果実がピンポン玉になる頃に
きゅうり	8kg	2kg	5回	収穫始めから2週間間隔で
ピーマン(唐辛子類)	15kg	1.5kg	5回	開花盛期から2週間間隔で

※価格は当時のものとなります。